

## 琴平グランドホテルと「金丸座」

香川県・こんぴら温泉郷【琴平グランドホテル】

【記事投稿者：会長 近兼 孝休】

琴平グランドホテルは、昭和48年10月に江戸時代より続く庶民信仰のメッカである「こんぴらさん」の愛称で親しまれている金刀比羅宮の伝統ある門前町に産声をあげました。

昭和63年2月に高級志向をふんだんに盛り込んだ「紅梅亭」をオープンし、さらに平成10年4月には「桜の抄」と銘打って本館をリニューアルオープンさせました。

全国から多数の参拝・観光客を集め賑わいをみせてきた「こんぴらさん」のお蔭で、琴平町の就労人口の7割は何らかの形で観光産業に関わっており、観光が地域を支える基幹産業となっております。しかしながら、第1回「四国こんぴら歌舞伎大芝居」が実現することになった前年の昭和59年当時、琴平町への観光客は大低迷期にまで落ち込み、老舗の旅館が相次いで廃業に追い込まれていました。

そこに昭和59年7月TBS系のテレビ番組「すばらしき仲間たち」の収録が、国の重要文化財に指定されている芝居小屋「金丸座」（昭和45年芝居小屋として初めての指定）で行われました。訪れた中村吉右衛門丈・沢村藤十郎丈・中村勘三郎丈（当時中村勘九郎丈）の3名の歌舞伎役者はすっかり「金丸座」に魅せられ、「ここで歌舞伎をやりたい」と頬を紅潮させて語る3人の熱き思いに、私共の宿にお泊りいただきおりました関係から、私が世話役をお引受けすることになりました。

文化庁との折衝やノウハウが全く無い中での集客等、難問が山積しており、開催に至るまでの道程はまさに茨の道でありました。

国の文化財に指定された舞台を活用した公演は全国でも初めての試みであり、関係者（特に歌舞伎役者の3名）の熱意が結集したお蔭で、昭和60年6月27日に第1回こんぴら歌舞伎の緞帳が上がったのです。

以来、NHK始めマスコミ等にも盛んに取り上げられ、現在まで24回継続的に発展・継承され、地域観光を全国に発信するに至ったのです。





とりわけ主演役者さんは「桜の抄」を定宿に  
していただいております、多くの文化人・日本中  
の自治体関係者・文芸・映画関係者等が「金  
丸座」を中心に訪れており、フィルムコミッ  
ションの活動も大々的に支援するに至ってお  
ります。また、我社では平成9年に現代人の  
多くが望んでいる現代風の「癒し」を新たな  
地域魅力創りの中心と考え、長期ビジョンに

基づき、執念の「温泉掘削」を成功させました。透明感の強い良質のお湯が評判となり平成  
10年4月1日に町と一体となり「こんぴら温泉郷」として全国に発信し、平成12年に「第1  
回こんぴら温泉まつり」を開催し、以後「さぬき三湯物語」（こんぴら温泉・小豆島温泉・塩  
江温泉）として官民が一体となり地域振興に取り組んでおります。

いずれにせよ、お客様の観光に対する意識・観光の仕組みが進化している中、過去の成功は  
将来の成功を約束してくれません。私自身“観光”の意味を日々見つめ直し、常にお客様をリ  
ードしていかなければならないと思います。

吉川英治は「朝の来ない夜はない」と名言しました。文化の語源はラテン語の「耕す」とい  
う意味であり、人の心を耕し、各々の地域観光を掘り起こせば、必ずや新たなる土壌（文化）  
が産まれる。この広がりが見光（光を観る）であると信じております。

また、「地域を愛する心」「人を愛する心」「おもてなしの心」等々、「心」こそは究極の  
ソフトであり、資産であります。景気波動につれ「ハード」は変わるかもしれないが、「心」  
を永遠に忘れることなく向上させていくことがお客様の期待に応え、業界を盛り立てて行く事  
に通じると信じ、日々努力してまいります。



香川県・こんぴら温泉郷

## 琴平グランドホテル

〒766-0001

香川県仲多度郡琴平町 977-1

TEL : 0877-75-3218

FAX : 0877-75-6606